

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

本校では、気仙沼市のスローフード都市宣言をもとに、2002年に「階上小学校スローフード宣言」をした。それ以来、1～6年生までが「食」についての課題を見つけ、地域と関わりながら系統的に学習している。地域の「食」について学んでいく中で、自分自身や地域の将来のあるべき姿を提言する力を育てたいと考えている。

【1・2年生】

地域の特産である茶豆の種まきや収穫、及び生長観察を行い、自分たちと地域や作物との関わりを学ぶと共に、生産者の方々との交流を図った。

【3年生】

地域の「やじの川」に着目し、生態・水質・農業水路等の環境を調査。川の役割と農作物の関係を学んだ。また、「名人発見！ぼくらの階上」という単元においては、地域で農業に従事する方々から「地域」と「食」の関わりを学んだ。

【4年生】

学校近くの水田での体験・観察活動。環境と主食としての役割を考えた。米作りの課題を設定し、稲の生長や流通、暮らしとの関わりなどについて追究活動を行った。また、学習の成果を新聞としてまとめ、収穫した米と一緒に交流している神戸市立多聞東小学校へと送った。

【5年生】

地域の水産業に着目し、産業と暮らしや地元食材と環境のつながり等を課題にしての追究活動を行った。また、ワカメの種付けや収穫等の体験活動も行い、地域の基幹産業である水産業への認識を深めた。

特に今年度は、「海洋教育」の視点から単元を捉え直した。東京大学海洋アライアンスの協力を得て、「気仙沼沖の海の豊かさ」や「海流」についてのトピック授業を行い、そこを切り口に児童の課題設定や探究活動につなげていくような学習の展開を試みた。

【6年生】

「スローフードを知ろう」及び「スローフードを学ぶ旅」では気仙沼のスローフードを学び、学習旅行で岩手県盛岡地方のスローフードと比較・体験学習をした。「味の方舟」及び「さざなみシェフ」では、6年間の学習から、気仙沼の食の魅力を未来に伝える取り組みを考え、具体的な実践として提言すると共に、地元の食材を用いたり、食文化を生かしたりした「気仙沼弁当」の調理実習を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）